



# ソーシャルクラブ



11月は別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち—」が開催されていた国立民族学博物館に行きました。

本展では、世界各地の人々の想像の中に息づく人魚や龍、河童などの幻獣と、人間の心理や想像力にまつわるものが展示されていました。

土地や時代の文化が反映された独創的な展示物の数々に引き込まれたように思います。

(利用者A)

11月15日に、阪神百貨店で開催されていた北欧物産展とENTRATAに行きました。

北欧物産展では、ムーミンの専門エリアやオシャレな洋服などがあり、その中でクリアファイルだけ買わせていただきました。

ENTRATAでは約7種類のピザとスープ、サラダなどが食べ放題で、みんなでおしゃべりしながら楽しく美味しく食べられたのでとてもいい経験でした。

(利用者B)



# リフレッシュ講座

初めてのリフレッシュタイムに参加しましたが、紅茶もいろんな種類があり、ハーブティーなどもありました。

コーヒーで落ち着く人もいれば、紅茶を飲んで落ち着く人もいました。

わたしは、コーヒーも紅茶も好きなのですが、リフレッシュタイムの時は紅茶にしました。

最後グループの人と話していたら、ココアや抹茶など普段飲み慣れているのがいいねと言っておりました。

(利用者C)



発達障害のある方の就職活動を応援する

**働くチカラWEB**

<http://hataraku-chikara.jp/>

エンカレ通信大阪のブログ「就労移行の日々」もぜひご覧ください!



裏面へ続く

# 企業見学

私は11月12日に門真市にあるF株式会社に行きました。この会社は物を梱包する仕事をしていました。

倉庫の中に指差し確認のパネルがあり、確認するのを忘れないと思いました。

F株式会社では物を傷つけないように、発泡スチロールなどを使っています。

私達がきれいな状態の商品を受け取れるのもF株式会社のおかげだと思いました。

(利用者D)



# 実習報告



今回、私はM社という打ち抜き工場の会社の実習させていただきました。

主な作業内容は、様々な商品の部品の型抜きやカッターで切る作業、掃除など体験しました。

はじめての実習で、出された指示を間違えるなど、思ったようにいかない部分もありましたが、

挨拶や自分から仕事を探そうとする点を長所として評価していただき、とても嬉しかったです。

次の実習は、今回の反省点を活かして精進したいと思います。

(利用者E)

打ち抜き加工をしている工場では、私は実習を行いました。実習前に作業を見学して、自分にもできそうと思いました。

気持ちがありましたが、しかし、手先の不器用さが思っていた以上に作業のネックとなり大変でした。

一見すると、単純で簡単そうな作業も、見た目以上に大変なことがあるということを知り驚きました。

その一方で、あいさつ・報連相にしっかりと取り組んでいると評価されました。この実習を、1月に控えている次回の実習につなげていきたいです。

(利用者F)

# ご家族様へ



# 編集後記



新年あけましておめでとうございます。2020年東京五輪の1年が始まりました。先日のOB訪問で企業の方から、自分を安心させるスキルのある人は長く働ける、そしてその安心をつくるのは経験であるとお話いただきました。仲間と楽しく過ごす経験、新しいことや就職活動にチャレンジする経験、エンカレッジでみなさんの経験が増えるように、そして2020年もみなさんのイキイキと生きるための就職を実現できるようにスタッフ一同懸命務めてまいります。本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。(所長 小島弥生)

今回、初めてデザインを担当しました。1月号のデザインはお正月らしさをイメージしました。裏面の背景を選ぶのにとっても苦労しましたが、いいデザインが出来て良かったです。とてもいい経験になりました。

(利用者G)

今回実習報告記事をご提供くださったお二方は、同じ会社へ実習されていました。その会社で私も実習させていただく予定です。

(利用者H)

エンカレッジ大阪  
利用状況・就職実績  
(2019年12月27日現在)

年度	就職者数
2017年度	15名
2018年度	11名
2019年度	15名

【就職実績】

【利用状況】

17名